

都市空間政策概論第 4 : 「都市と環境 (I)」 シラバス

トータルコーディネーター : 古米弘明

担当教員 : 福士謙介、栗栖聖、滝沢智、片山浩之、小熊久美子、佐藤弘康、古米弘明

10 月 30 日～11 月 20 日

火曜 6 限 (18:40-20:05) ・ 火曜 7 限 (20:10-21:35)

□ 講義の目的

持続可能な都市の形成のためには、地球環境問題の制約の中で安全かつ快適な都市環境および生活環境を将来世代にわたって創造していくことが必要になる。いまや多様な環境問題を把握した上で都市のプランニングを行うことが必須となっている。本講義では、そのような環境問題の今日的な課題、計画技術・工学技術の修得を目的とする。「都市と環境」の講義は全体を 2 部に分け、第 1 部である「都市と環境 (I)」においては、都市環境の概論と水環境を主として対象とする。なお、S1/S2 タームに開講される第 2 部は、都市と環境のうち、大気・熱環境と都市環境リスク・廃棄物を主とした内容である。

□ 講義項目

(1) 都市環境の現状と改善	滝沢 智 教授	10 月 30 日 6 限
(2) 都市への水供給	片山浩之 准教授	10 月 30 日 7 限
(3) 浄水処理概論	小熊久美子 准教授	11 月 6 日 6 限
(4) 健全な水環境	古米弘明 教授	11 月 6 日 7 限
(5) 下水道概論	佐藤弘泰 准教授	11 月 13 日 6 限
(6) 地球環境問題の中の都市	福士謙介 教授	11 月 13 日 7 限
(7) 都市とサステナビリティ	福士謙介 教授	11 月 20 日 6 限
(8) 都市環境の価値と評価	栗栖 聖 准教授	11 月 20 日 7 限

□ 理解すべき事項

地球環境と都市の関連、サステナビリティの考え方など含めて、さまざまな都市環境が抱える問題やその評価についての概要を理解する。また、水環境の関連から、都市水インフラである水道と下水道の仕組み、その水処理関連技術、水環境保全の基礎を学ぶ。

□ 成績評価

それぞれの教員が課すレポート (合計 2 題を選択) をもとに、出席状況を加味して評価する。レポート課題の選択は以下のように行う。

1. 項目 (1)、(6)、(7)、(8) の教員がそれぞれ出す課題から 1 題を選択
2. 項目 (2)、(3)、(4)、(5) の教員がそれぞれ出す課題から 1 題を選択
(課題提示 : 11 月下旬、レポート締め切り 1 月 9 日 (火))